

## 十勝地区 圧倒的No.1のショッピングセンターへ 10月25日(金)「イオン帯広店」全館リフレッシュオープン!

イオン北海道株式会社(以下、当社)は、「イオン帯広店(以下、帯広店)」にて、1階及び2階直営売場を中心に改装を行い、2019年10月25日(金)、全館リフレッシュオープンいたします。

帯広店は1979年、帯広市の中心部に「ニチイ帯広店」としてオープン以来、近隣にお住まいの方ももちろんのこと、十勝地区にお住まいの多くのお客さまにご愛顧いただいております。この度、「十勝地区圧倒的No.1の品揃えとワンストップショッピングの場としての魅力向上」のため、直営売場を中心に全面改装を実施いたします。

今回の改装は、1階食品フロアにて、一足早く品揃えの拡大や売場構成の変更を実施し、10月18日(金)にオープンいたします。その後、1階暮らしの品のフロア、2階衣料品フロア、一部専門店でも改装を行い、10月25日(金)、全館リフレッシュオープンいたします。

当社は、北海道の皆さまに「イオンのあるまちに住みたい」と思っていただけるよう、今後も魅力あるショッピングセンターの創出と商品・サービスレベルの向上に取り組んでまいります。

### ◆フロアごとのTopics◆

#### ①食品フロア：地場産品や中食商品を中心とした品揃え強化と「ヘルス&ウエルネス」コーナーの新設

十勝産の牛肉やジンギスカン、スイーツなど、地場産品を豊富に取り揃えるほか、冷蔵・冷凍食品を中心に簡便・即食商品の品揃えを拡大し、ライフスタイルの変化により広がりを見せる中食需要に対応します。また、健康に配慮した食品を集めた「ヘルス&ウエルネス」コーナーを新たに展開し、多様な商品でお客さまの健康管理をサポートします。

#### ②衣料品フロア：人気ブランドショップの初導入と「タッチ&トライ」スペースを増設

シニア世代を中心に人気のカジュアルブランド「紳士ゴールデンベア」や靴の老舗ブランド「マドラス」、スーツケースを中心に扱うブランド「アジア・ラゲージ」のショップを初導入し、おしゃれで高品質な商品を取り揃えます。またホビー売場では、品揃えの強化とともに、おもちゃで遊べるスペース「タッチ&トライ」を増設し、お子さまにも楽しんでいただける空間をご提供します。

#### ③暮らしの品のフロア：「HOME COORDY」の品揃え拡大と人気生活雑貨「ダルトン」の初導入

イオンのオリジナルブランド「HOME COORDY(以下、ホームコーディ)」の品揃えを拡大するほか、若い世代に人気の生活雑貨「ダルトン」を初導入。デザイン豊かな商品と豊富な品揃えで、お客さまのトータルコーディネートをサポートします。

#### 【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道(株) 総務部広報・IRグループ 金田・山崎 電話：011-865-9111

### ①食品フロア：地場産品や中食商品を中心とした品揃え拡大と「ヘルス&ウエルネスコーナー」の新設



深いうまみと口どけよく甘みのある脂身をもつ「豊西牛」や「(有)五日市のジングスカン」など、十勝・帯広の味を豊富に取り揃え、帯広店だからできる品揃えを行います。また、冷蔵・冷凍食品を中心に中食商品の品揃えを強化。簡単調理で本格的な味を楽しめる商品など、バラエティ豊かに取りそろえ、お客さまの“時短・簡便ニーズ”にお応えします。さらに、アレルギー対応食品や低糖質・減塩食品を一堂に揃えた「ヘルス&ウエルネス」コーナーを展開し、健康が気になるお客さまの声にお応えします。

### ②衣料品フロア：人気ブランドの初導入と「タッチ&トライ」スペースを増設



上質な大人のカジュアルウエアを提案するブランド「紳士ゴールドンベア」が新たに加わるほか、「クロコダイル」や「シンプルライフ」など、既存のカジュアルブランドの品揃えも拡大し、おしゃれで高品質な商品をご提供します。また、こだわりの品をご提案する取り組み“専門店化”の一環として、当社2店舗目の導入となる靴のブランドショップ「マドラスパッサノ」と、主にスーツケースを取り扱うブランドショップ「アジア・ラゲージ」が新たにオープン。様々なシーンで活躍する靴や、旅行関連商品を幅広く取り揃えます。さらにホビー売場では、2020年からの学校教育で「プログラミング授業」が始まることに合わせて、知育玩具を拡充するほか、おもちゃで遊べる「タッチ&トライ」スペースを増設し、家族そろって楽しめる空間へと生まれ変わります。

### ③暮らしの品のフロア：「HOME COORDY」の品揃え拡大と人気生活雑貨「ダルトン」の初導入



「暮らしにアクセントを。」をコンセプトに展開する、イオンのオリジナルブランド「ホームコーディ」。今回のリニューアルでは、従来の品揃えを大幅に拡大し、クッションやラグなど、今まで取り扱いのなかった商品を増やします。また、“専門店化”を進める手芸のお店「パンドラハウス」には、当社4店舗目の導入となる人気生活雑貨「ダルトン」が初登場。ハウスウェアやキッチンウェアなど、思わず手に取りたくなるデザイン性の高い商品を品揃えします。さらに若い世代に人気のフォトショップを導入し、さまざまな大きさの写真プリントができる機械の設置やインスタで人気の「フォトプロップス」の販売などを行います。

## ■イオン帯広店 概要■



【イオン帯広店 外観】

### <店舗概要>

- 店舗名称： イオン帯広店
- 所在地： 北海道帯広市西4条南20丁目1  
※JR帯広駅から徒歩15分
- 電話番号： (0154) 24-3100
- HPアドレス： <https://www.aeon-hokkaido.jp/obihiro/>
- 責任者： イオン帯広店 店長 石高 匡史 (いしたか まさふみ)  
SCマネージャー 渡辺 純也 (わたなべ じゅんや)
- 敷地面積： 約32,800㎡
- 商業施設面積： 約22,200㎡ (うちイオン直営店 約9,400㎡)
- 延床面積： 約47,500㎡
- 営業時間： 1階食品フロア： 8:00~21:45  
その他のフロア： 9:00~21:00  
※1 一部営業時間が異なる売場がございます。  
※2 11日(金)から17日(木)まで改装のため食品フロアはご利用いただけません。  
そのため、営業時間は9時から21時までに変更となります。
- 専門店数： 72店舗 ※2019年10月25日現在
- 休業日： 年中無休
- 駐車台数： 約1,690台
- リフレッシュオープン日： 2019年10月18日(金) 食品フロア先行オープン ※3  
2019年10月25日(金) 全館リフレッシュオープン ※3  
※3 営業時間は全館9時からとなります。
- 楽宅便について： 帯広店では、お買いいただいた商品をご自宅へお届けするサービス「楽宅便」を行っています。詳しくは下記URLをご確認ください。  
<https://www.aeon-hokkaido.jp/obihiro/delivery.html>



## ●環境・社会貢献活動について <取り組みの一例>

### 「とまち帯広WAON」

帯広市とイオン㈱は、2017年10月、双方が持つ資源を有効に活用し、まちづくりに協働で取り組むことを目的として、包括連携協定を締結しました。その取り組みの一環として、イオンは「とまち帯広WAON」を発行しており、このWAONのご利用金額の一部を帯広市に寄付し、帯広市の子育て支援と、教育環境や帯広動物園の充実に活用されています。「とまち帯広WAON」は、帯広店のほか全国のイオンのお店でも販売しており、発行から2019年2月末までの累計発行枚数は11,973枚、累計寄付金額は818,476円となりました。



【とまち帯広WAON】

### 「バスでのWAON決済」

北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）は2018年5月より十勝バスの西地区コミュニティ路線にて、イオンの電子マネー「WAON」決済の実証実験を行っています。また2019年2月からは、全国で初めて多区間運賃路線の一部で「WAON」決済の実証実験を実施しており、お買物だけではなく移動にも「WAON」をご利用いただけるようになりました。



【十勝バス】

（多区間運賃利用可能路線：73系統「自衛隊稲田線」、79系統「畜大線」）

### 「イオン チアーズクラブ」

「イオン チアーズクラブ」とは、小学1年生から中学3年生までの子どもたちが、店舗周辺を活動拠点とし、様々な環境問題に取り組み、みんなで考えることを目的とするエコクラブです。帯広店では23名（10月11日時点）の子どもたちが、今年の活動テーマである「太陽」に基づき、南富良野町での植樹や太陽エネルギー学習会への参加など、さまざまな活動を行っています。



【帯広イオンチアーズクラブ】

### 「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

イオンでは毎月11日を「イオン・デー」として、従業員で店舗近隣にて清掃を実施するクリーン活動とともに、お買物されたお客さまのレシートを応援したい地域のボランティア団体の投函ボックスへ入れていただくことにより、投函されたレシート合計金額の1%に相当する品物をその団体に寄贈する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しております。帯広店では、2018年度に投函いただいたレシート総額の1%にあたる約74万円相当の品物を地域の23の団体へ寄贈しています。



【黄色いレシート投函ボックス】

### 「資源回収・食品レジ袋無料配布中止」

当社では、いち早く資源の節約やCO<sub>2</sub>の排出削減に取り組み、買物袋持参運動によるレジ袋削減や店頭資源回収による紙パックや食品トレーなどの有効活用を実施しています。食品トレーについては、真空パックなどトレーを使わない商品を販売しているほか、帯広店では、2008年11月よりレジ袋の無料配布中止に取り組んでいます。



【資源回収ボックス】

※画像はすべてイメージです。